

にかほ市のTDK野球部 地元小中学校に

「白球米」を寄贈



TDK硬式野球部（にかほ市）は、選手が初めて栽培に携わった米を地元の小中学校に贈った。

同部は地域貢献活動の一環として米作りに参加。雑草の発生を抑えるロボット（アイガモロボ）を活用し、環境保全型のスマート農業に取り組んだ。

栽培した「ひとめぼれ」は、白い野球ボールと白い米にちなんで「白球米」と命名。

パッケージには選手のユニホーム姿と稲穂をデザインした。

にかほ市の小中学校7校に計810キロが贈られ、12月中旬の給食で振る舞われた。16日には選手が金浦小学校を訪れ、児童と一緒に味わった。

同部の担当者は「野球部の選手達のように、お米をたくさん食べてすくすく育ってもらえたらうれしい」と話した。

（加藤広大）

（令和6年12月29日（日）秋田魁新聞より一部抜粋）